

# 地域学校協働連携NEWS



こちらの二次元コードから、閲覧・ダウンロードができます →

## 老人クラブ との 舞殿清掃 ～ 檜枝岐中学校 ～

8月7日(水)、檜枝岐中学校と村老人クラブによる協働活動「舞殿清掃」を訪問しました。この活動は、愛宕神と鎮守神の祭礼で奉納される檜枝岐歌舞伎の上演に合わせ、5月と8月に行われています。会場を清める意味と歌舞伎を見に訪れるお客さんを気持ちよく迎える意味が込められています。当日は役場住民課職員の進行の下で、村老人クラブの方々や檜枝岐中の生徒、教職員等が協力しながら熱心に取り組んでいました。



始まりのあいさつ



石階段は竹箒を使って



客席となる砂利の落ち葉も取り除きます

久しぶりに会う人もいて、話しながら作業できることがよい点です。ここにたくさんのお客さんが来てくださることを考えると、作業は苦になりません。(中3 平野さん)

顔見知りの方が多いので、作業しながら話します。昔ここに倒木があったこと等、自分が知らないことを教えてもらうこともあります。「自慢の村なので、多くの方に来てもらいたいです!」(中3 橘君)

### 舞殿(檜枝岐の舞台)

江戸時代に建設されたが明治26年に焼失し、明治中頃に再建された。昭和51年8月国重要有形民俗文化財に指定。歌舞伎は平成11年3月「檜枝岐歌舞伎」として県重要無形文化財に指定された。



先生方と活動の振り返りをする生徒



学校評価アンケート結果を見ると、村に対して愛着と誇りを持っている生徒が多いことがわかります。このような活動が教育目標に掲げている郷土愛の育成にも繋がっていると感じています。(鶴巻校長先生)

村老人クラブ副会長の星さんに話を伺いました。「昔からこの場所は私たちの心のよりどころです。祭礼がなぜ執り行われるのか、奉納歌舞伎の意味などについても作業しながら中学生に話すことがあります。単にきれいにするだけでなく、村の子ですから『祭礼が近づいていること』をこの活動を通して肌で感じ取ってほしいと思っています。」と語ってくださいました。舞殿清掃は単なる共同作業としてだけではなく、会話を通じて村として大切にしていきたいことを若い世代に直に伝えていく役割も担っています。世代を超えた村人が「協働」で取り組むことに大きな意味があることを感じました。

